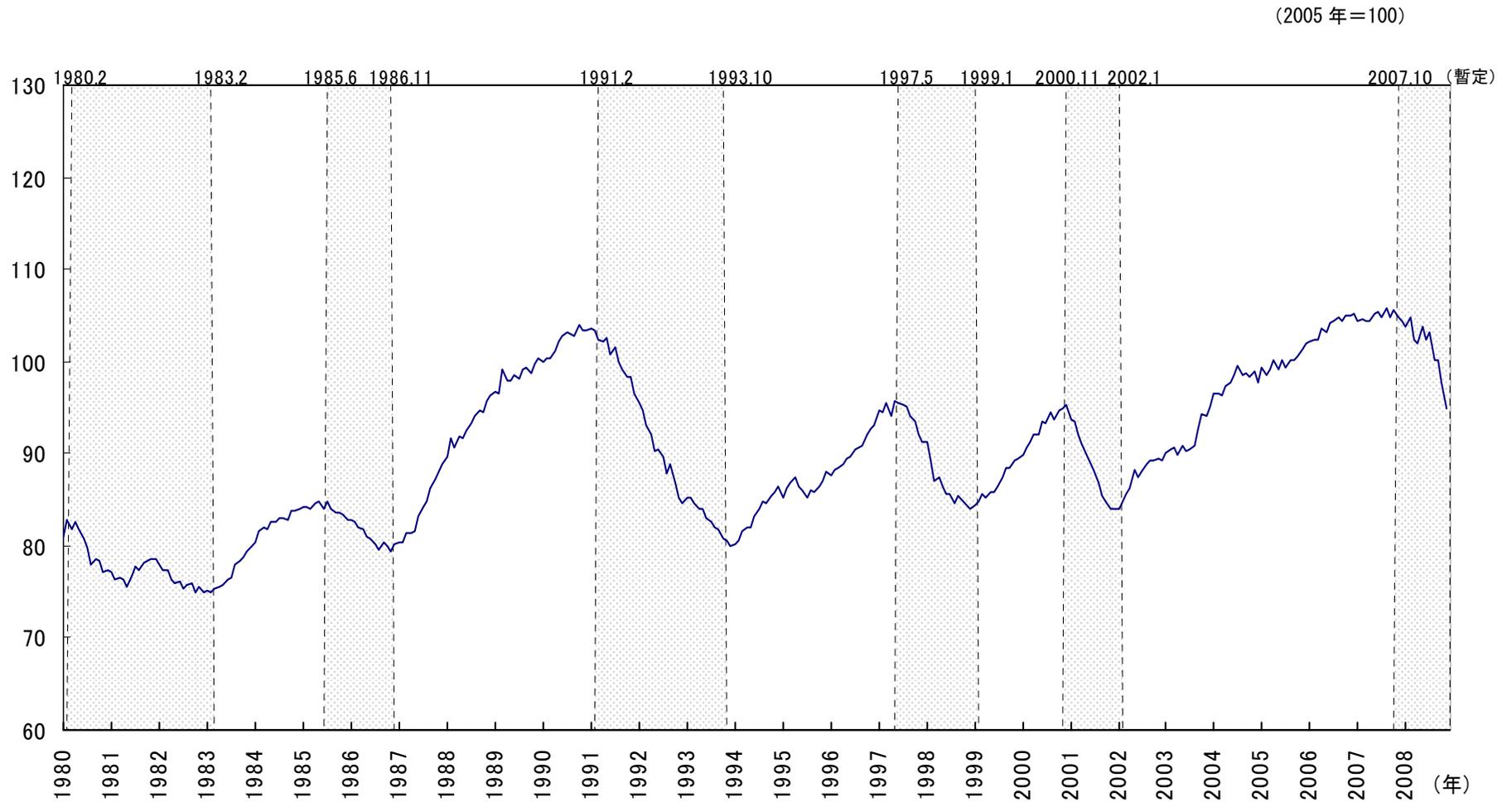


# 資料 2 参考図表集

(図表 1) 一致 CI 時系列グラフ



(注) シャドー部分は、景気後退期を表す。

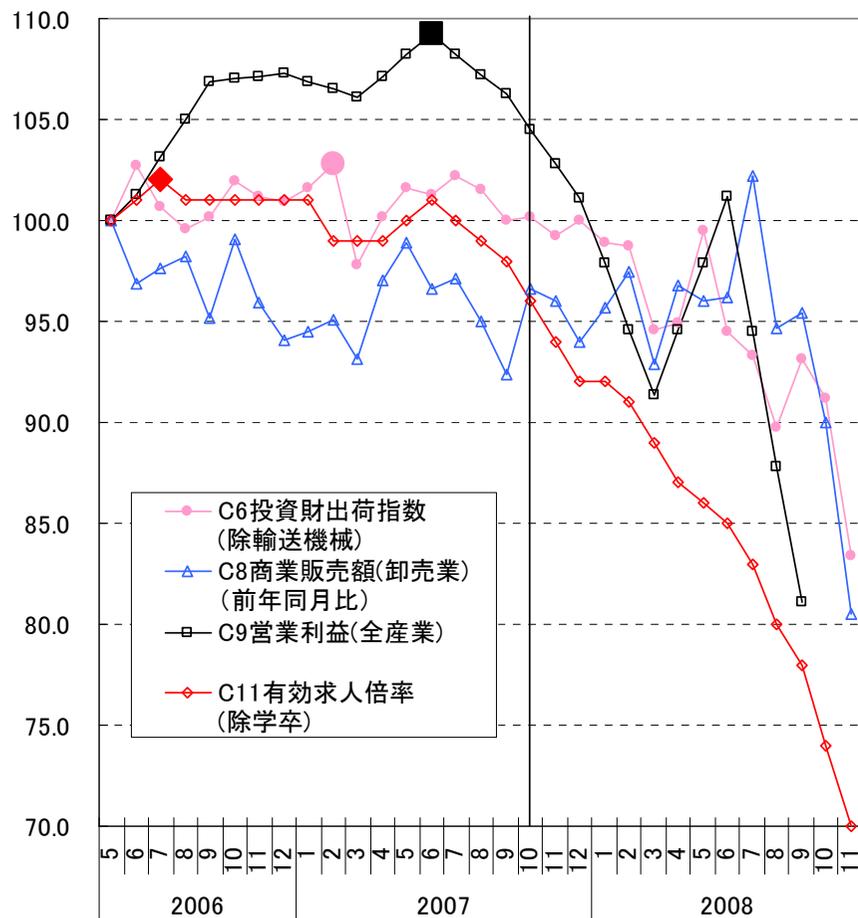
(図表 2) 個別系列の転換点

○第 14 循環の山の個別系列の転換点

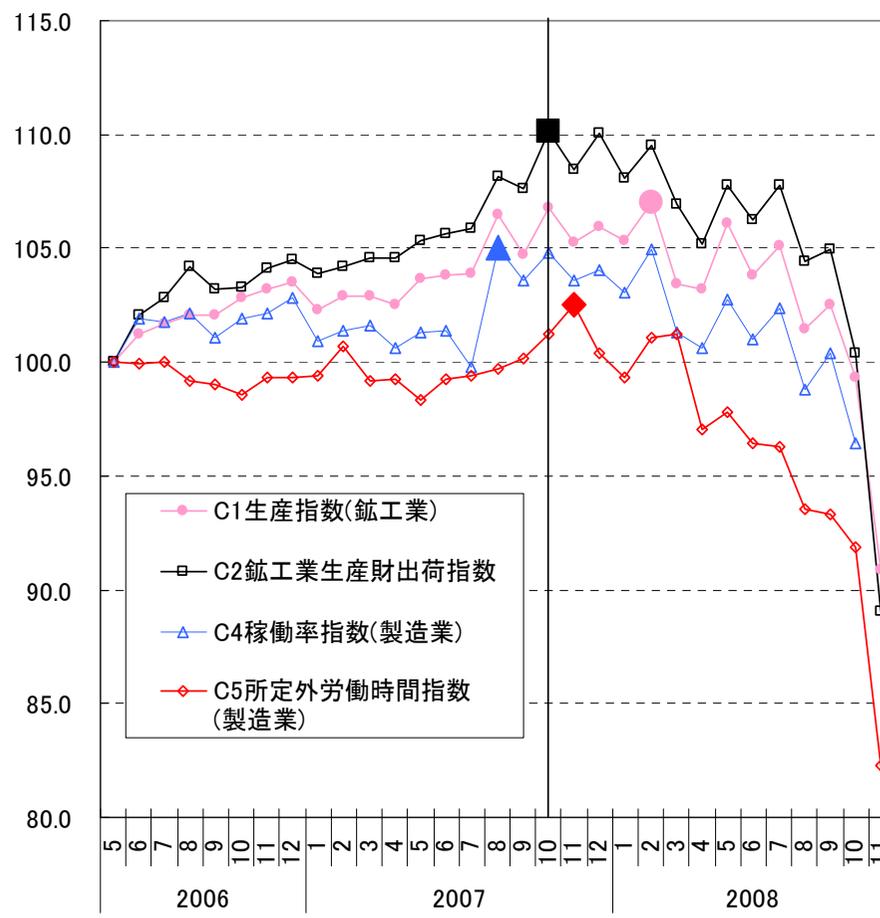
	転換点 (暫定)
① C 8 商業販売額 (卸売業) (前年同月比)	2006 年 5 月
② C 11 有効求人倍率 (除学卒)	2006 年 7 月
③ C 6 投資財出荷指数 (除輸送機械)	2007 年 2 月
④ C 9 営業利益 (全産業)	2007 年 6 月
⑤ C 4 稼働率指数 (製造業)	2007 年 8 月
⑥ C 2 鉱工業生産財出荷指数	2007 年 10 月
⑦ C 5 所定外労働時間指数 (製造業)	2007 年 11 月
⑧ C 1 生産指数 (鉱工業)	2008 年 2 月
⑨ C 7 商業販売額 (小売業) (前年同月比)	2008 年 2 月
⑩ C 9 中小企業売上高 (製造業)	—
⑪ C 3 大口電力使用量	—

(図表3) 一致CI個別系列の動き

一致CI個別系列の動き①(2006年5月=100)



一致CI個別系列の動き②(2006年5月=100)



(備考) 大きい点は、各系列のピークを示す。

(図表4) ヒストリカルDI(一致指数)の動き

	平成18年(2006年)												平成19年(2007年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
景気基準日付																						山		
C1 生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C2 鉱工業生産財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-
C3 大口電力使用量	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C4 稼働率指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-
C5 所定外労働時間指数(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-
C6 投資財出荷指数(除輸送機械)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7 商業販売額指数(小売業)(前年同月比)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C8 商業販売額指数(卸売業)(前年同月比)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C9 営業利益(全産業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
C10 中小企業売上高(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C11 有効求人倍率(除学卒)	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡張系列	11	11	11	11	11	10	10	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	8	7	7	6	6	5	4
採用系列数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
一致指数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%	90.9%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	63.6%	63.6%	63.6%	72.7%	63.6%	63.6%	54.5%	54.5%	45.5%	36.4%

	平成20年(2008年)										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
景気基準日付											
C1 生産指数(鉱工業)	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C2 鉱工業生産財出荷指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C3 大口電力使用量	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C4 稼働率指数(製造業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5 所定外労働時間指数(製造業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C6 投資財出荷指数(除輸送機械)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7 商業販売額指数(小売業)(前年同月比)	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C8 商業販売額指数(卸売業)(前年同月比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C9 営業利益(全産業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C10 中小企業売上高(製造業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C11 有効求人倍率(除学卒)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拡張系列	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2
採用系列数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10
一致指数	36.4%	36.4%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	20.0%	20.0%

(図表5) ①景気の山からの一致CIの下降率

【景気の「山」を起点】

	「山」	13ヶ月後までの下降	(参考)谷までの下降率
第9循環	1980年2月	▲7.5%	▲9.5% (36ヶ月)
第10循環	1985年6月	▲4.6%	▲5.6% (17ヶ月)
第11循環	1991年2月	▲10.1%	▲21.9% (32ヶ月)
第12循環	1997年5月	▲10.5%	▲11.8% (20ヶ月)
第13循環	2000年11月	▲11.3%	▲11.4% (14ヶ月)
第14循環	2007年10月	▲10.0%	
平均		▲8.8%	

(図表5) ②拡張期における一致CIの上昇率

【景気の「谷」を起点】

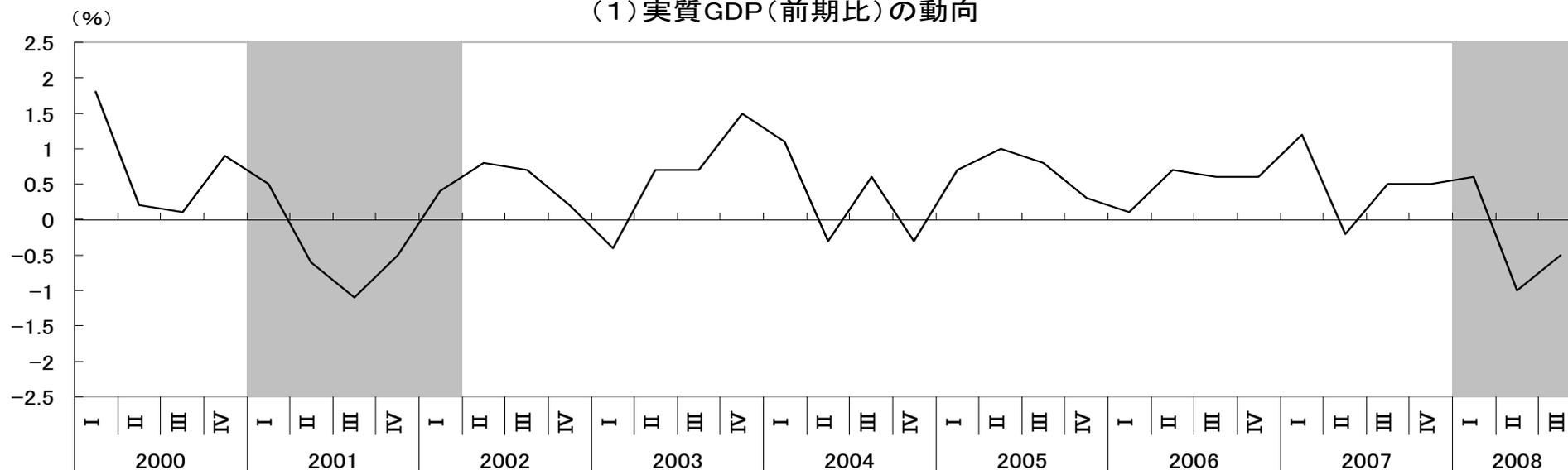
	「谷」	山までの上昇率	月あたりの上昇率
第10循環	1983年2月	12.3% (28ヶ月)	0.4%
第11循環	1986年11月	30.2% (51ヶ月)	0.5%
第12循環	1993年10月	18.6% (43ヶ月)	0.4%
第13循環	1999年1月	12.2% (22ヶ月)	0.5%
第14循環	2002年1月	25.6% (69ヶ月)	0.3%

(図表6) 景気基準日付

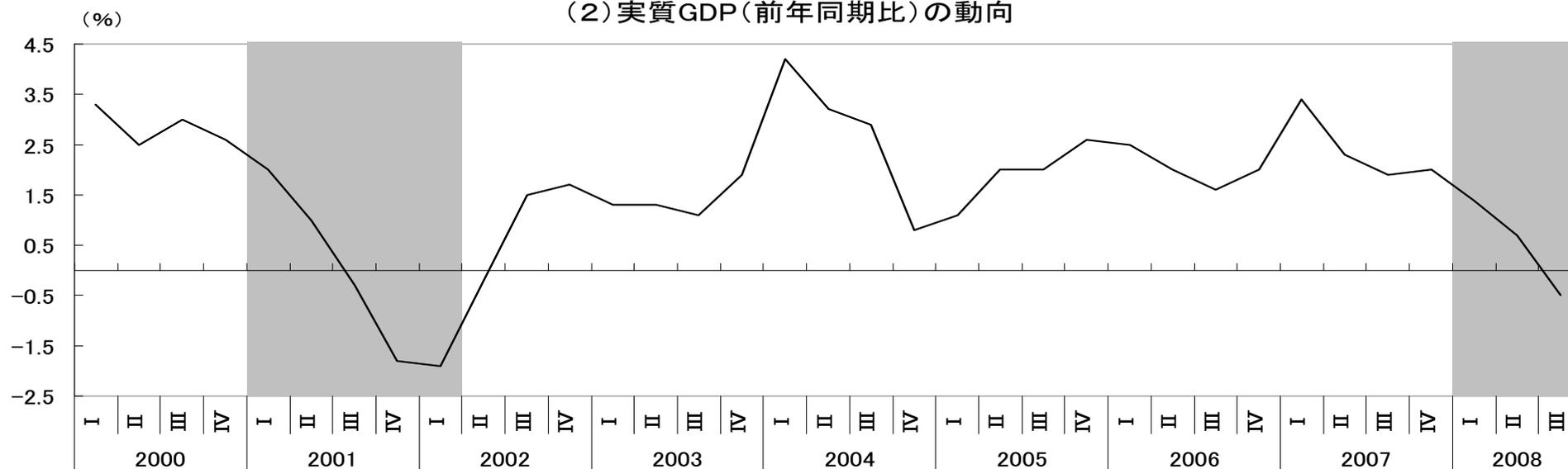
	谷	山	谷	期間			(参考)四半期基準日付	
				拡張	後退	全循環	山	谷
第1循環		1951年6月	1951年10月		4力月		1951年4～6月	1951年10～12月
第2循環	1951年10月	1954年1月	1954年11月	27力月	10力月	37力月	1954年1～3月	1954年10～12月
第3循環	1954年11月	1957年6月	1958年6月	31力月	12力月	43力月	1957年4～6月	1958年4～6月
第4循環	1958年6月	1961年12月	1962年10月	42力月	10力月	52力月	1961年10～12月	1962年10～12月
第5循環	1962年10月	1964年10月	1965年10月	24力月	12力月	36力月	1964年10～12月	1965年10～12月
第6循環	1965年10月	1970年7月	1971年12月	57力月	17力月	74力月	1970年7～9月	1971年10～12月
第7循環	1971年12月	1973年11月	1975年3月	23力月	16力月	39力月	1973年10～12月	1975年1～3月
第8循環	1975年3月	1977年1月	1977年10月	22力月	9力月	31力月	1977年1～3月	1977年10～12月
第9循環	1977年10月	1980年2月	1983年2月	28力月	36力月	64力月	1980年1～3月	1983年1～3月
第10循環	1983年2月	1985年6月	1986年11月	28力月	17力月	45力月	1985年4～6月	1986年10～12月
第11循環	1986年11月	1991年2月	1993年10月	51力月	32力月	83力月	1991年1～3月	1993年10～12月
第12循環	1993年10月	1997年5月	1999年1月	43力月	20力月	63力月	1997年4～6月	1999年1～3月
第13循環	1999年1月	2000年11月 (暫定)	2002年1月	22力月	14力月	36力月	2000年10～12月 (暫定)	2002年1～3月
第14循環	2002年1月	2007年10月		69力月			2007年10～12月	

(図表7) 実質 GDP の動向

(1) 実質GDP(前期比)の動向



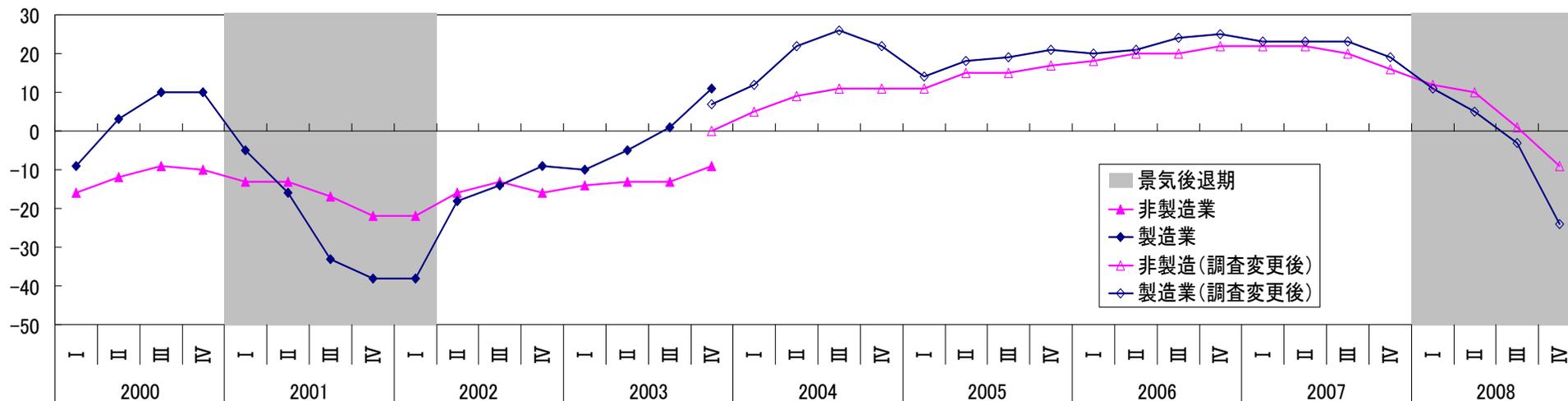
(2) 実質GDP(前年同期比)の動向



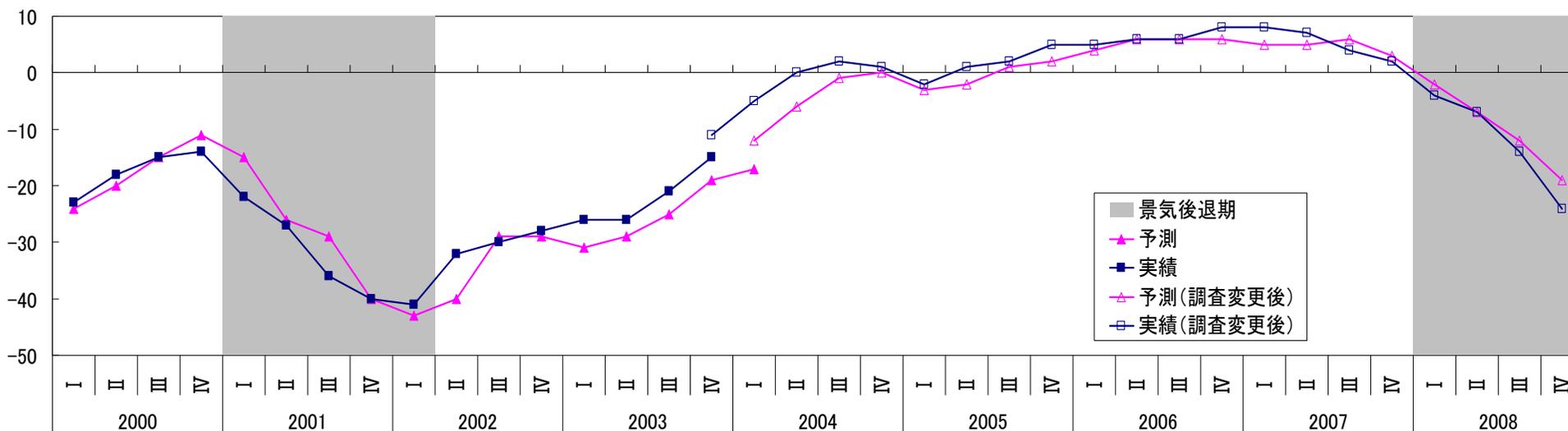
(備考) シャド一部分は、景気後退期を示す。

(図表8) 日銀短観(業況判断DI)の動向

(1)日銀短観業況判断DI(大企業)



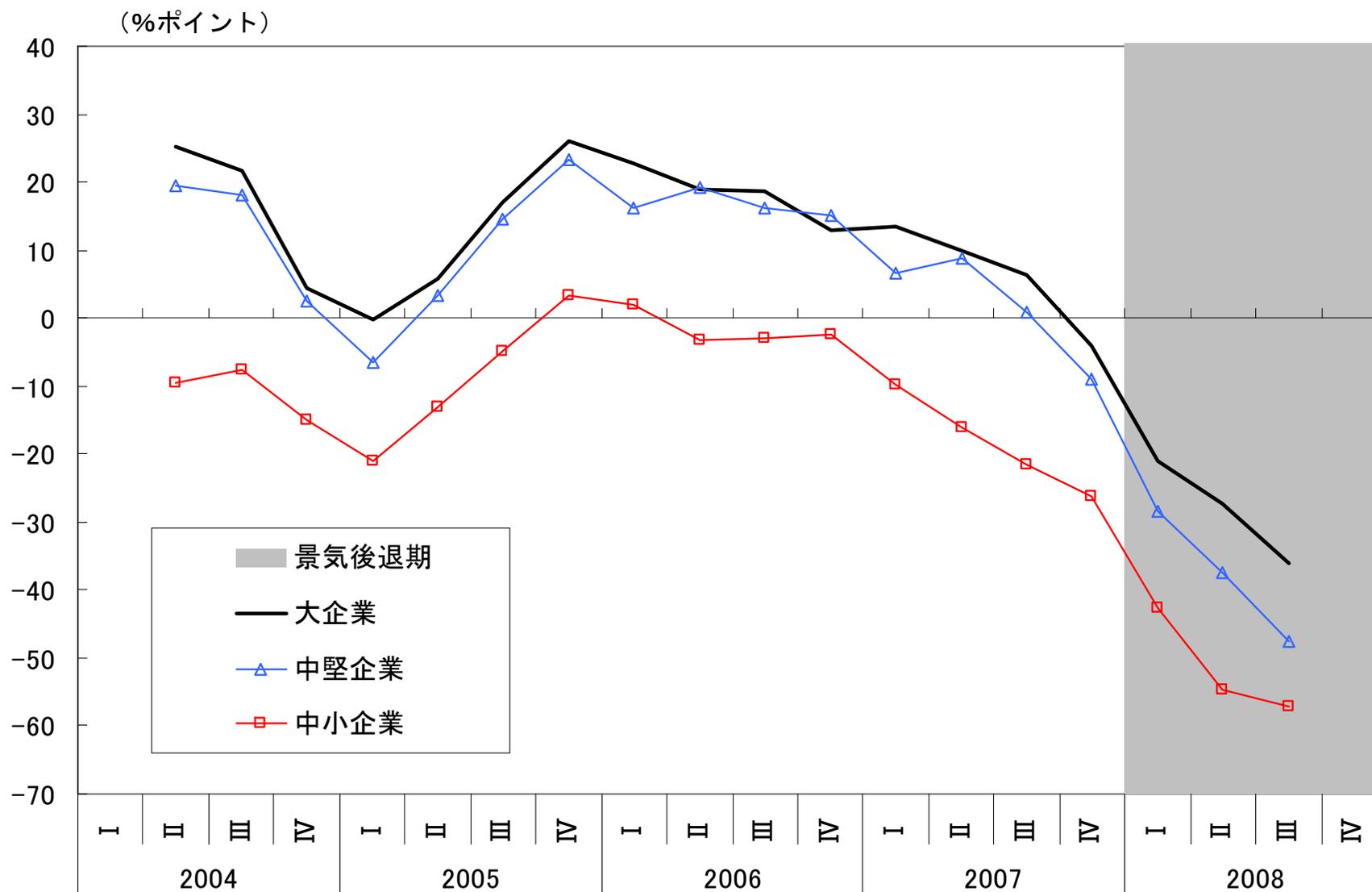
(2)日銀短観業況判断DI(全規模)



(備考1) 短観は「良い」-「悪い」社数比率。

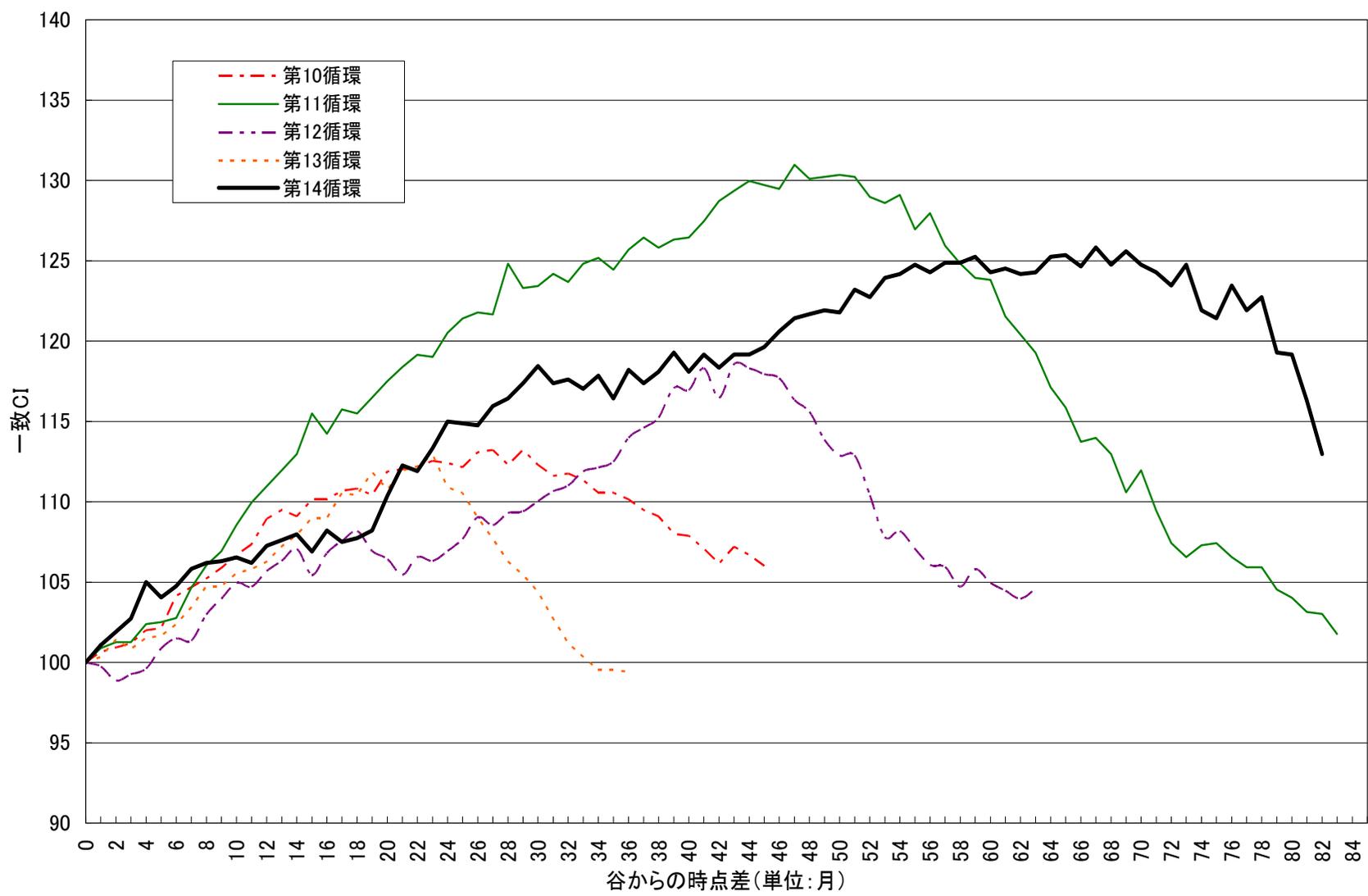
(備考2) 2004年3月調査より、調査方法が変更されている。

(図表9) 法人企業景気予測調査 (国内の景況判断 BSI) の動向

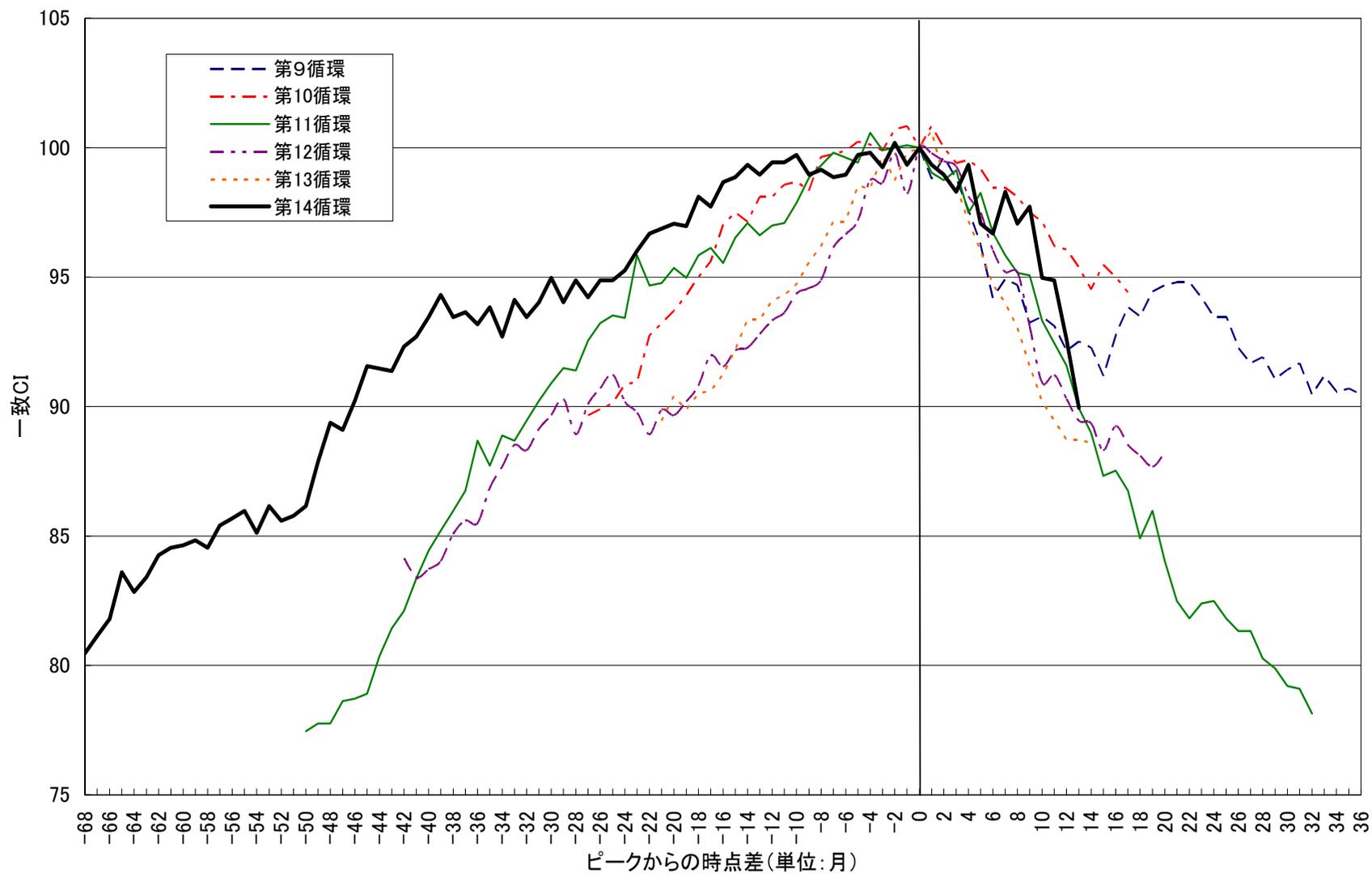


(備考) BSI は、「上昇」 - 「下降」社数比率。

(図表 10) 各循環の一致CIの上昇と下降 (各循環の谷=100)



(図表 11) 各循環の一致CIの上昇と下降 (各循環の山=100)



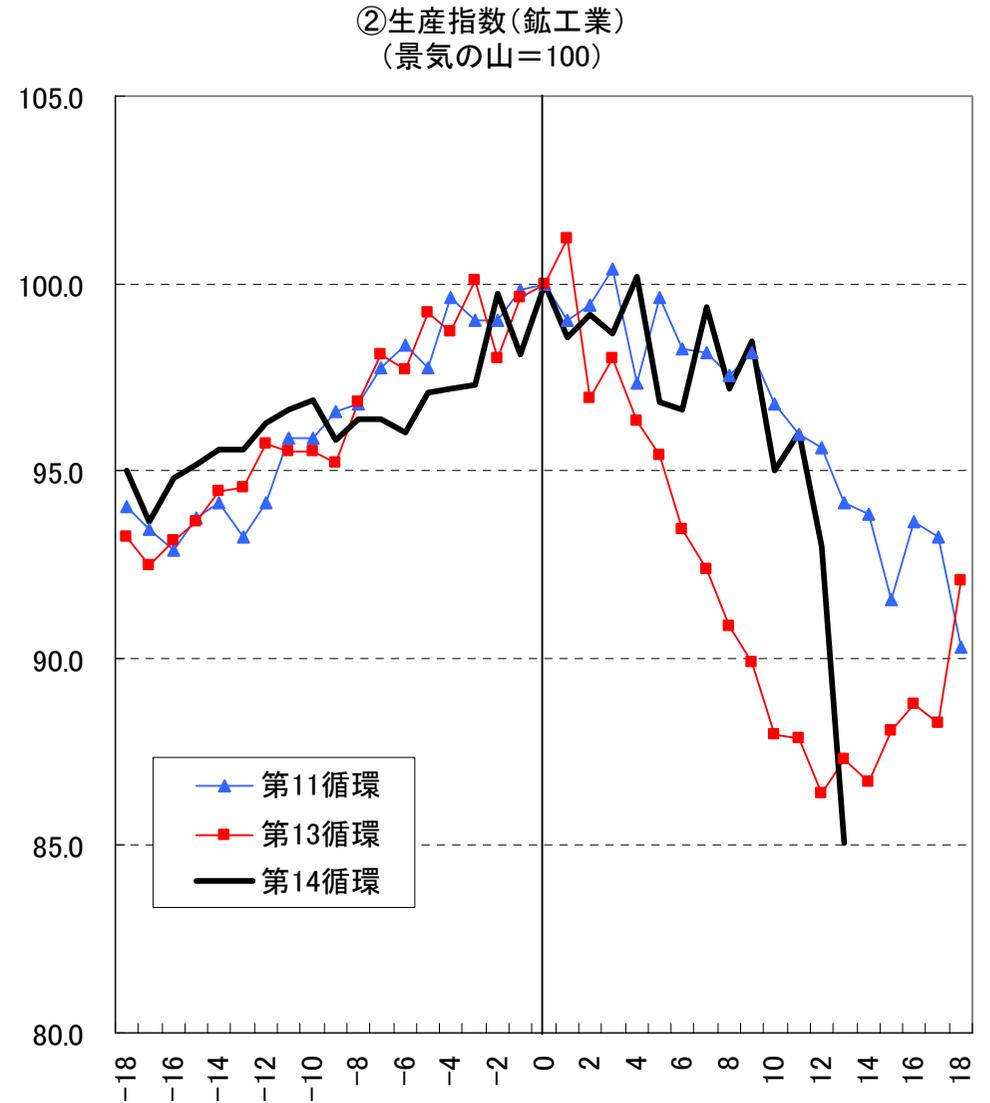
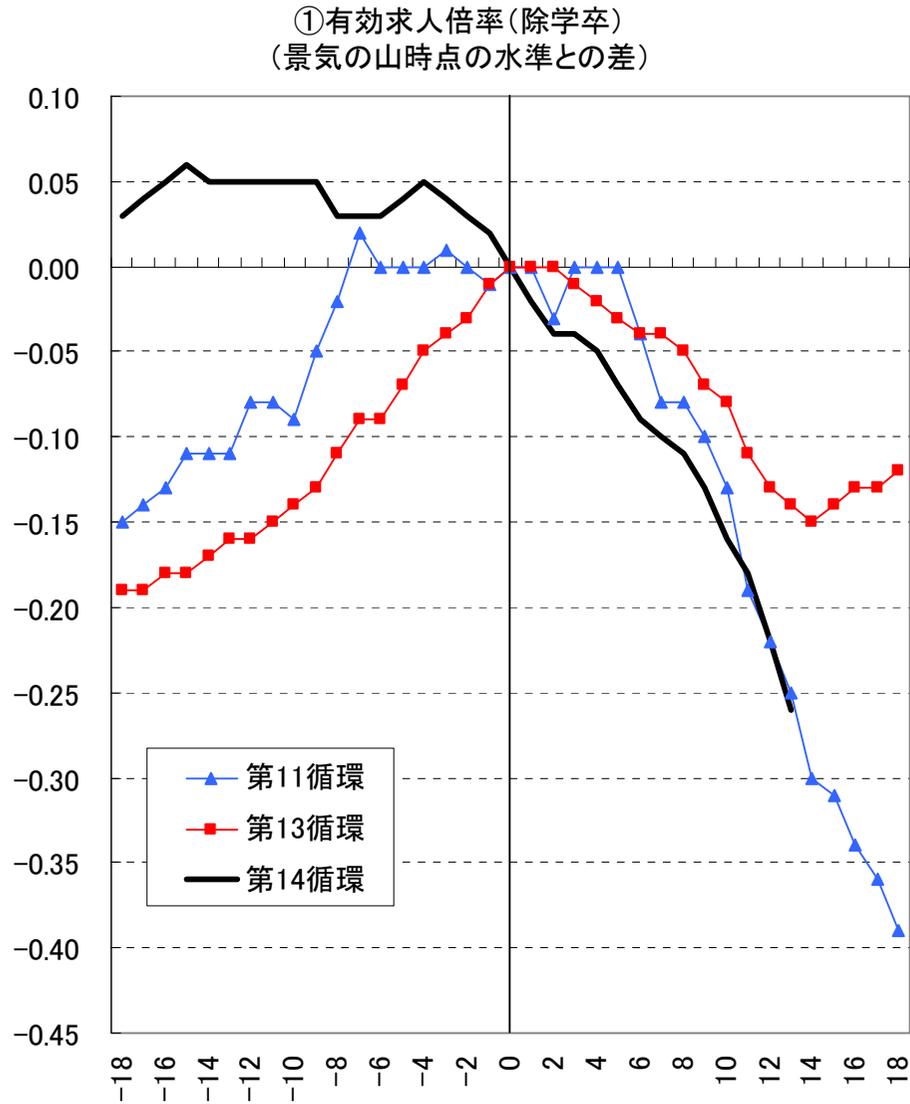
(図表 12) 景気循環と個別系列の山のタイミング

		山(マイナス=先行、プラス=遅行(月数))				
景気基準日付		1985.6	1991.2	1997.5	2000.11	2007.10
C1 生産指数(鉱工業)	系列の山	1985.5	1991.5	1997.5	2000.12	2008.2
	山とのズレ(月)	-1	3	0	1	4
C2 鉱工業生産財出荷指数	系列の山	1984.11	1991.5	1997.8	2000.8	2007.10
	山とのズレ(月)	-7	3	3	-3	0
C3 大口電力使用量	系列の山	1985.8	1991.6	1997.5	2000.12	※1
	山とのズレ(月)	2	4	0	1	
C4 稼働率指数(製造業)	系列の山	1984.11	1990.10	1997.1	2000.8	2007.8
	山とのズレ(月)	-7	-4	-4	-3	-2
C5 所定外労働時間指数(製造業)	系列の山	1985.4	1989.4	1997.5	2000.11	2007.11
	山とのズレ(月)	-2	-22	0	0	1
C6 投資財出荷指数(除輸送機械)	系列の山	※1	1991.5	1997.1	2000.12	2007.2
	山とのズレ(月)		3	-4	1	-8
C7 商業販売額指数(小売業)	系列の山	1986.4	1990.4	1997.3	2001.3	2008.2
	山とのズレ(月)	10	-10	-2	4	4
C8 商業販売額指数(卸売業)	系列の山	1984.7	1990.5	1997.3	1997.3	2006.5
	山とのズレ(月)	-11	-7	-2	1	-17
C9 営業利益(全産業)	系列の山	1985.3	1990.7	1997.6	2000.12	2007.6
	山とのズレ(月)	-3	-7	1	1	-4
C10 中小企業売上高(製造業)	系列の山	1984.11	1991.5	1997.3	2000.8	※1
	山とのズレ(月)	-7	3	-2	-2	
C11 有効求人倍率(除学卒)	系列の山	1985.7	1990.7	1997.7	2001.1	2006.7
	山とのズレ(月)	-3	-5	2	2	-15

※1 山がついていない系列

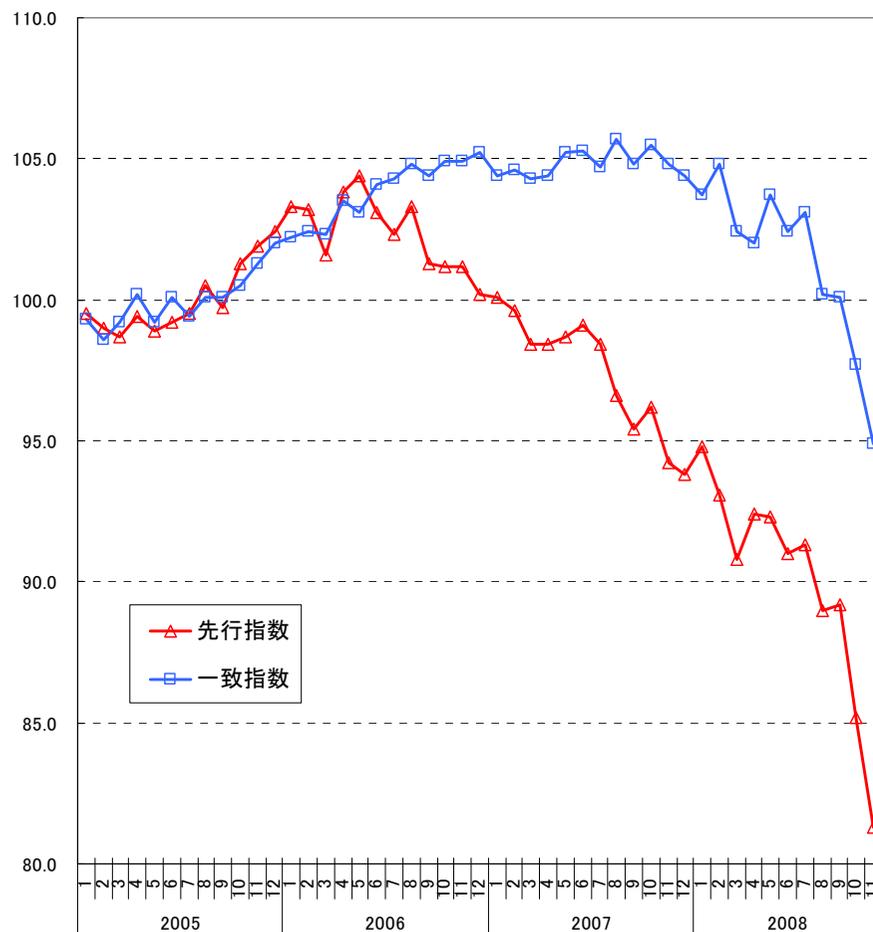
※2 ■ は、最も遅く転換点をつけた系列※3 ■ は、最も早く転換点をつけた系列

(図表 13) C11 有効求人倍率 (除学卒)、C1 生産指数 (鉱工業) の景気の山前後の動き



(図表 14) 先行指数の動き

① C I 先行指数と一致指数の動き



② C I 先行指数の個別系列の動き

		2006年5月から1年間の変化	
		(前年差、前年比)	(累積寄与度)
L1	最終需要財在庫率指数 (逆サイクル)	▲ 1.0	▲ 0.38
L2	鉱工業生産財在庫率指数 (逆サイクル)	2.2	▲ 0.14
L3	新規求人 (除学卒)	▲ 5.4	▲ 1.48
L4	実質機械受注 (船舶・電力を除く民需)	▲ 2.4	▲ 0.23
L5	新設住宅着工床面積	▲ 12.1	▲ 0.67
L6	耐久消費財出荷指数 (前年同月比)	▲ 8.0	▲ 0.47
L7	消費者態度指数	▲ 2.5	▲ 1.13
L8	日経商品指数(42種総合) (前年同月比)	▲ 4.3	▲ 1.30
L9	長短金利差	▲ 0.5	▲ 0.56
L10	東証株価指数 (前年同月比)	▲ 42.0	▲ 1.95
L11	投資環境指数 (製造業)	0.4	▲ 0.15
L12	中小企業売上げ見通し D.I.	▲ 6.2	▲ 0.76
	一致指数トレンド成分	—	3.44

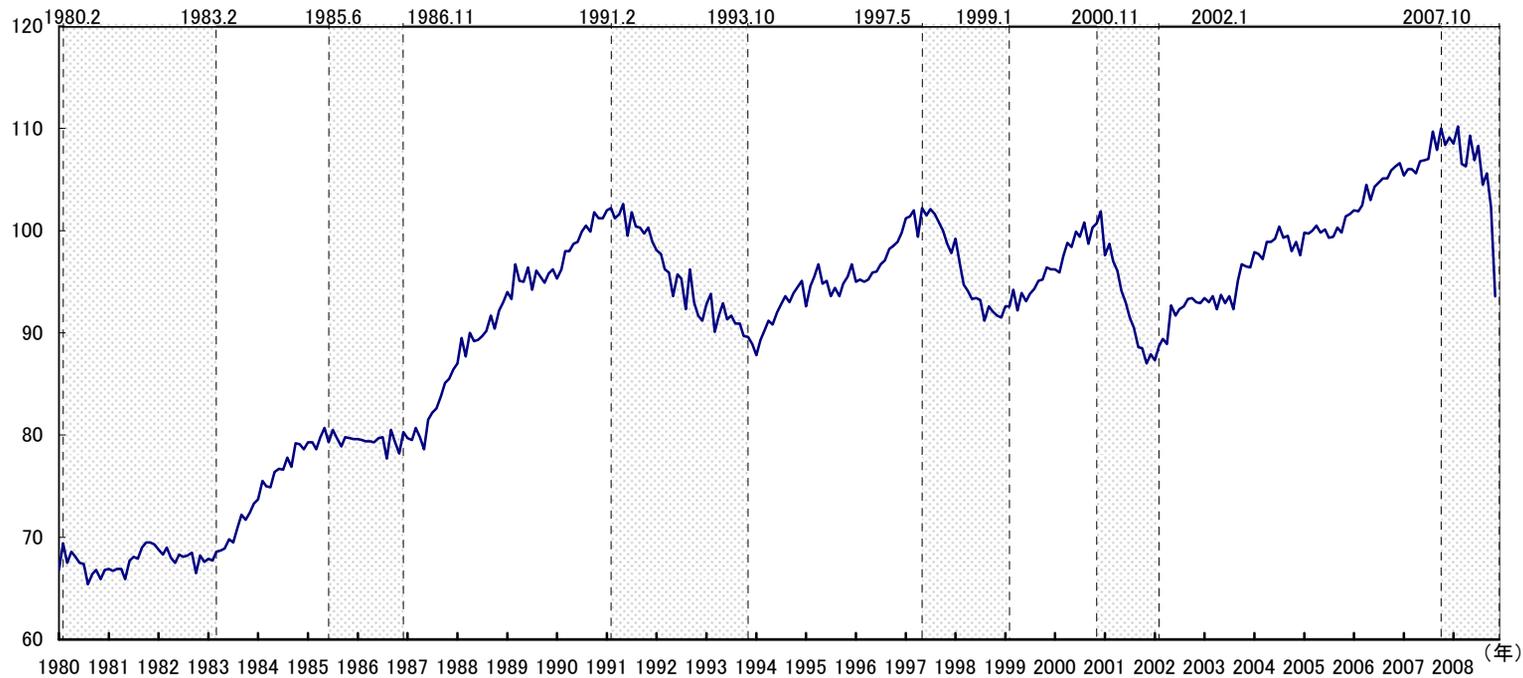
(注1) L1, L2の前年差は在庫率の上昇をマイナス、在庫率の低下をプラスとして表記している。

(注2) 寄与度は、トレンド周りの動きを表しているもので、前年差がプラスでも、トレンドを下回っていれば寄与度がマイナスになることもある。

(図表15) 一致系列の推移 11 Coincident Indicators

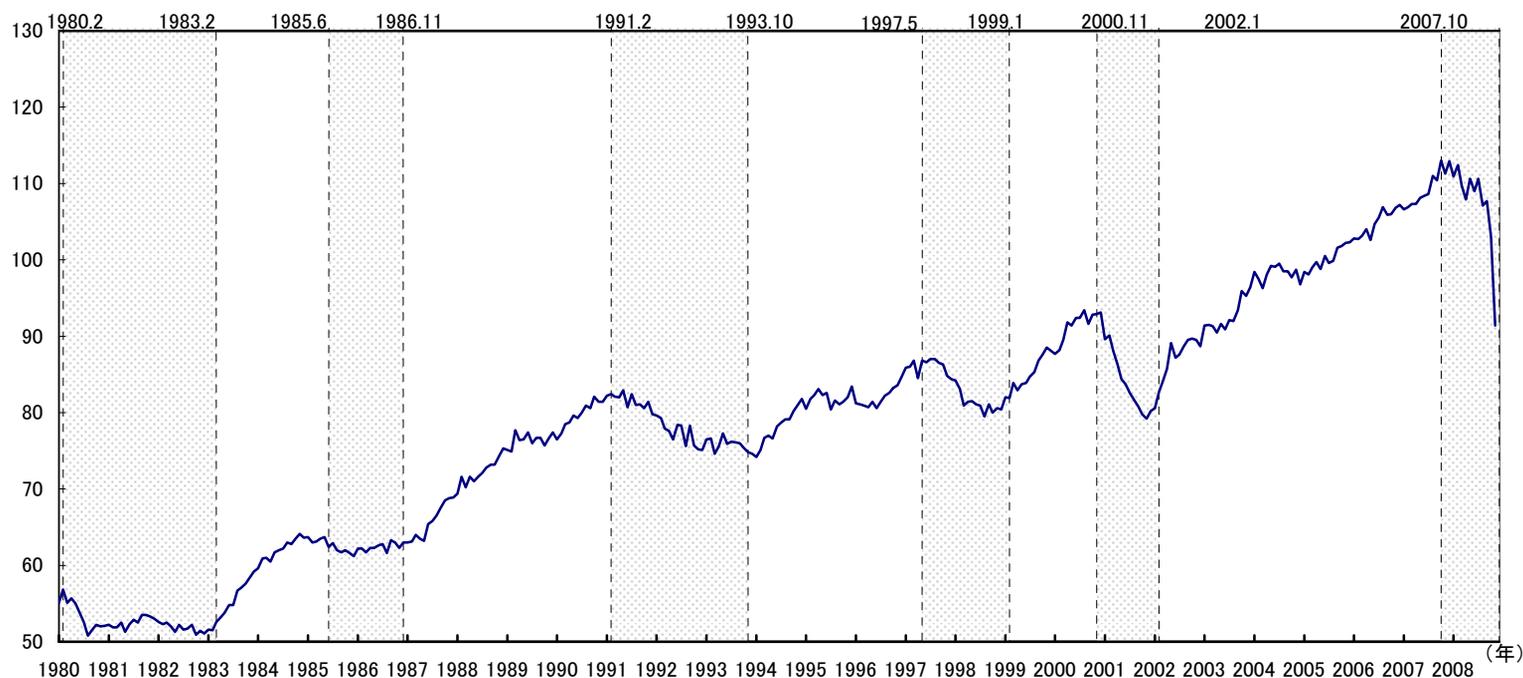
C 1 生産指数 (鉱工業)

(2005年=100)



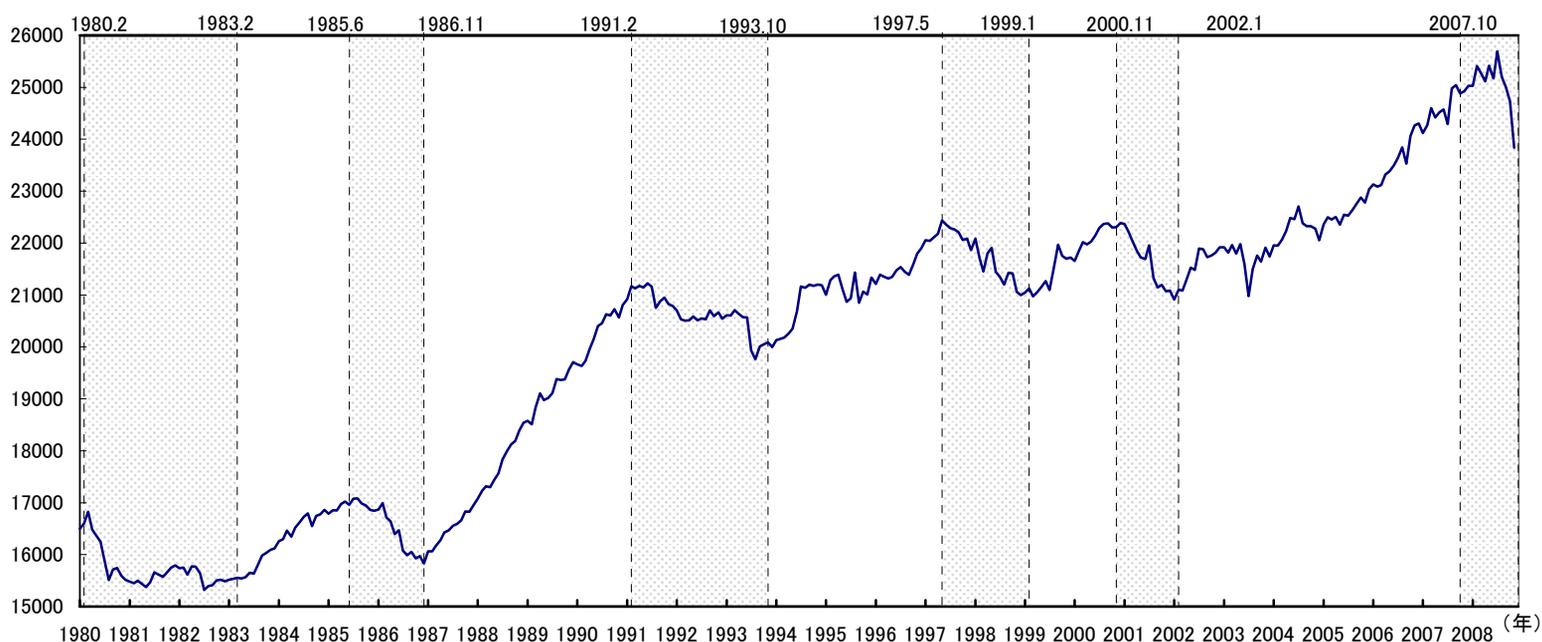
C 2 鉱工業生産財出荷指数

(2005年=100)



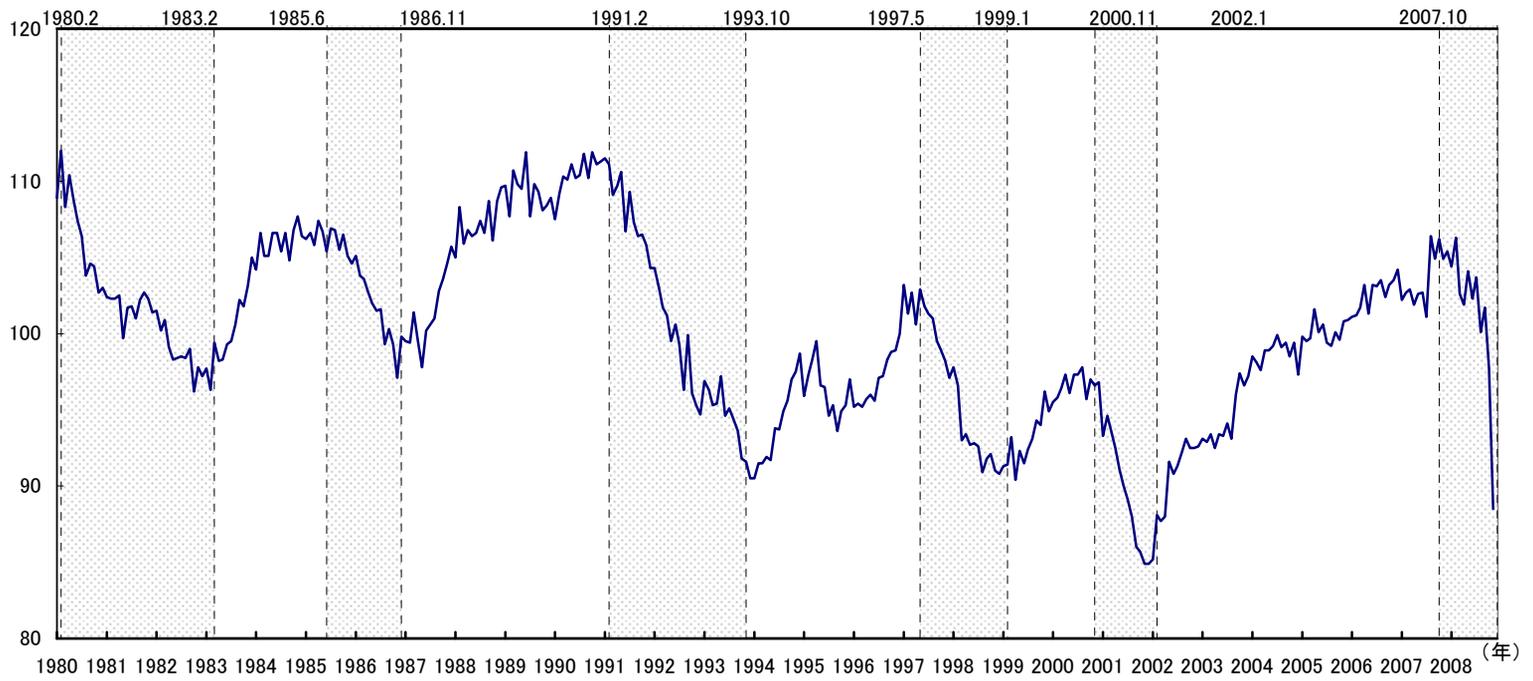
C 3 大口電力使用量

(百万kwh)



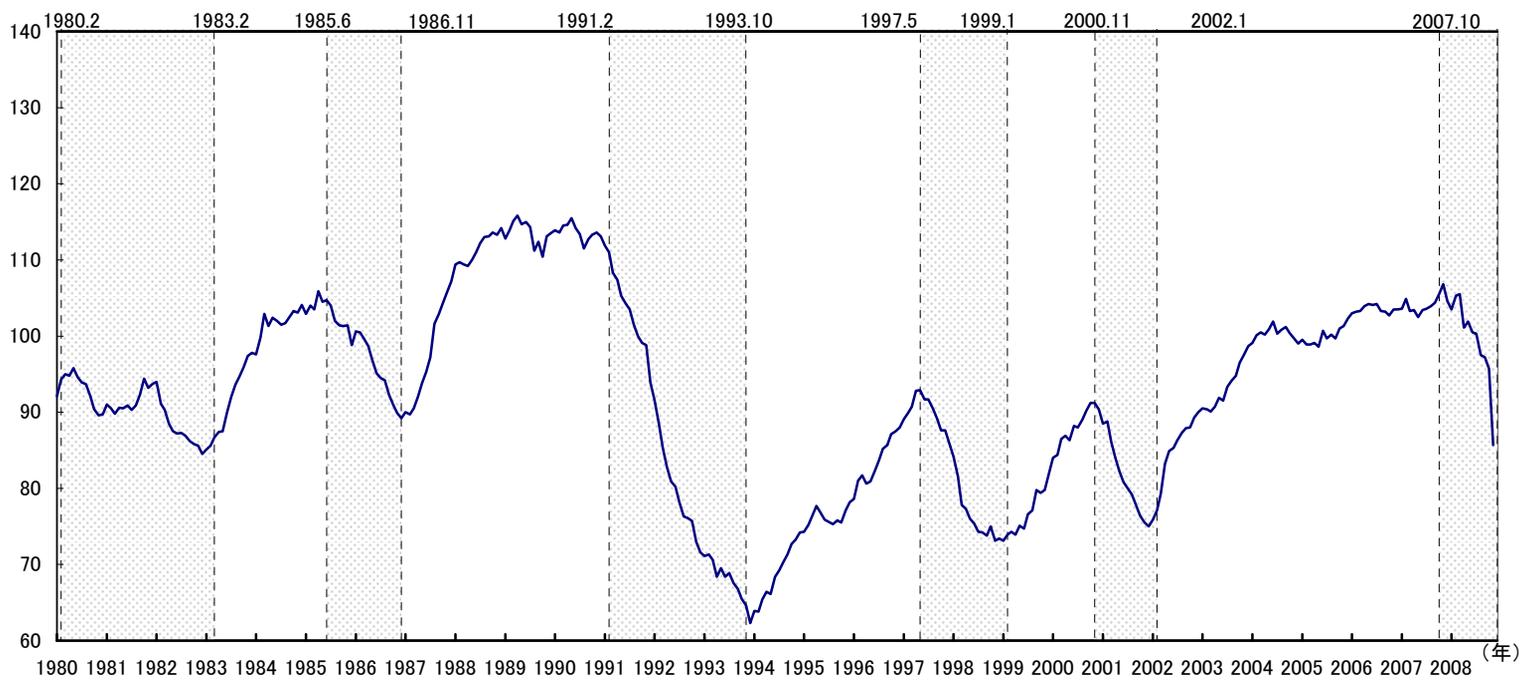
C 4 稼働率指数（製造業）

(2005年=100)



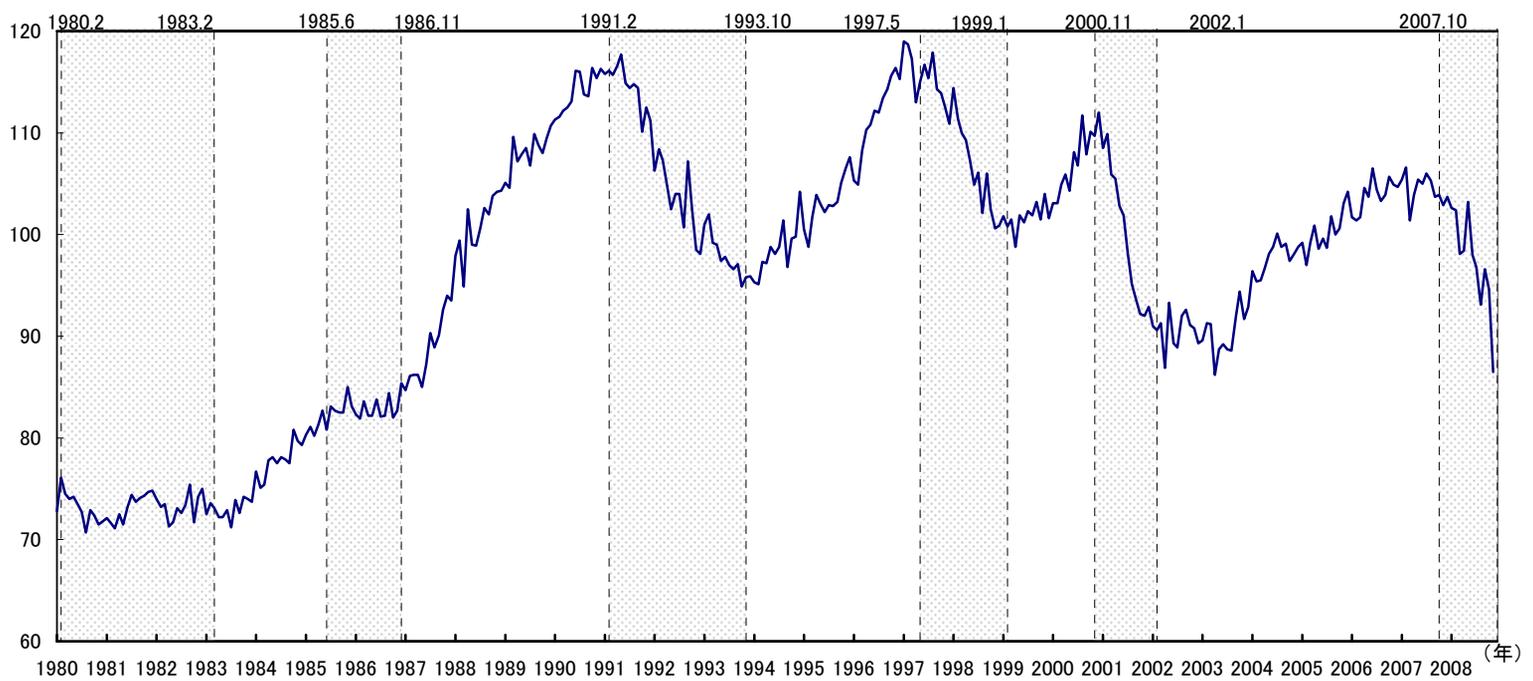
C 5 所定外労働時間指数（製造業）

(2005年=100)



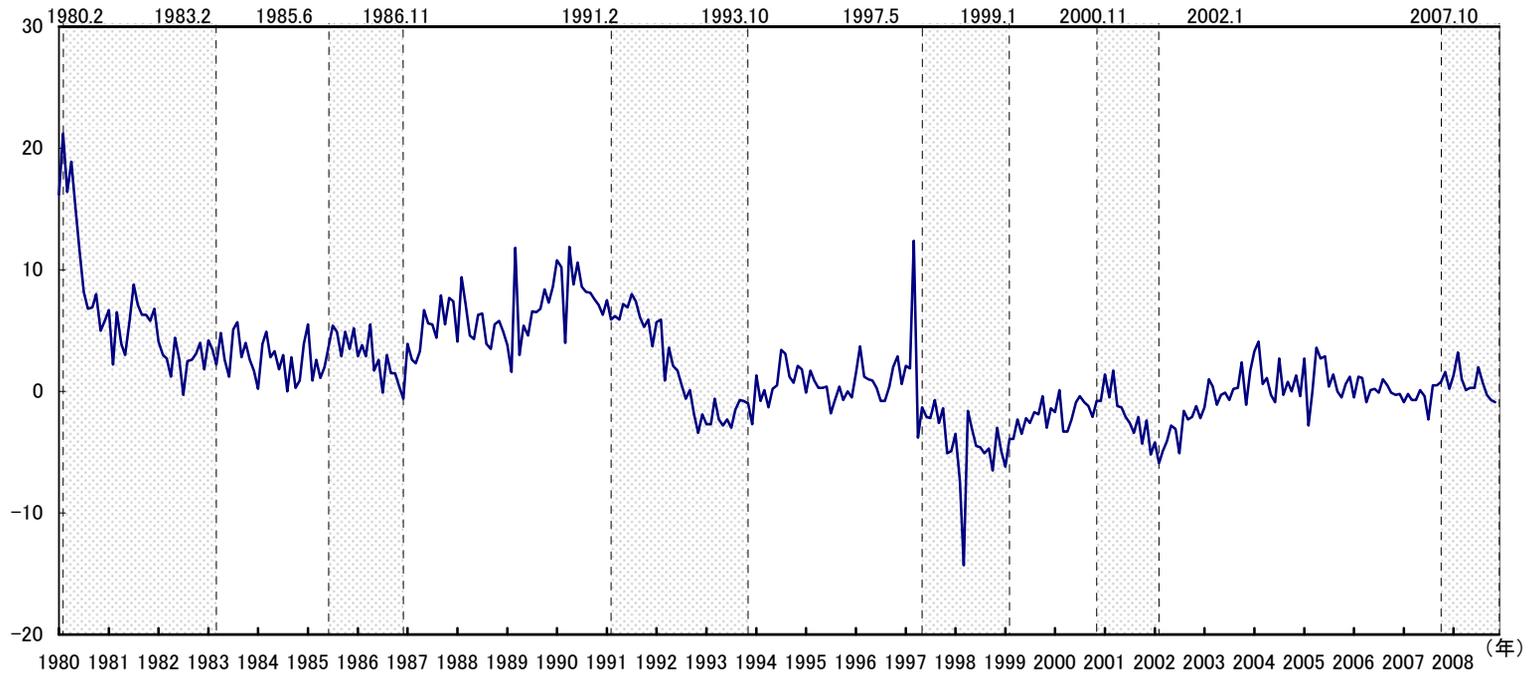
C 6 投資財出荷指数（除輸送機械）

(2005年=100)



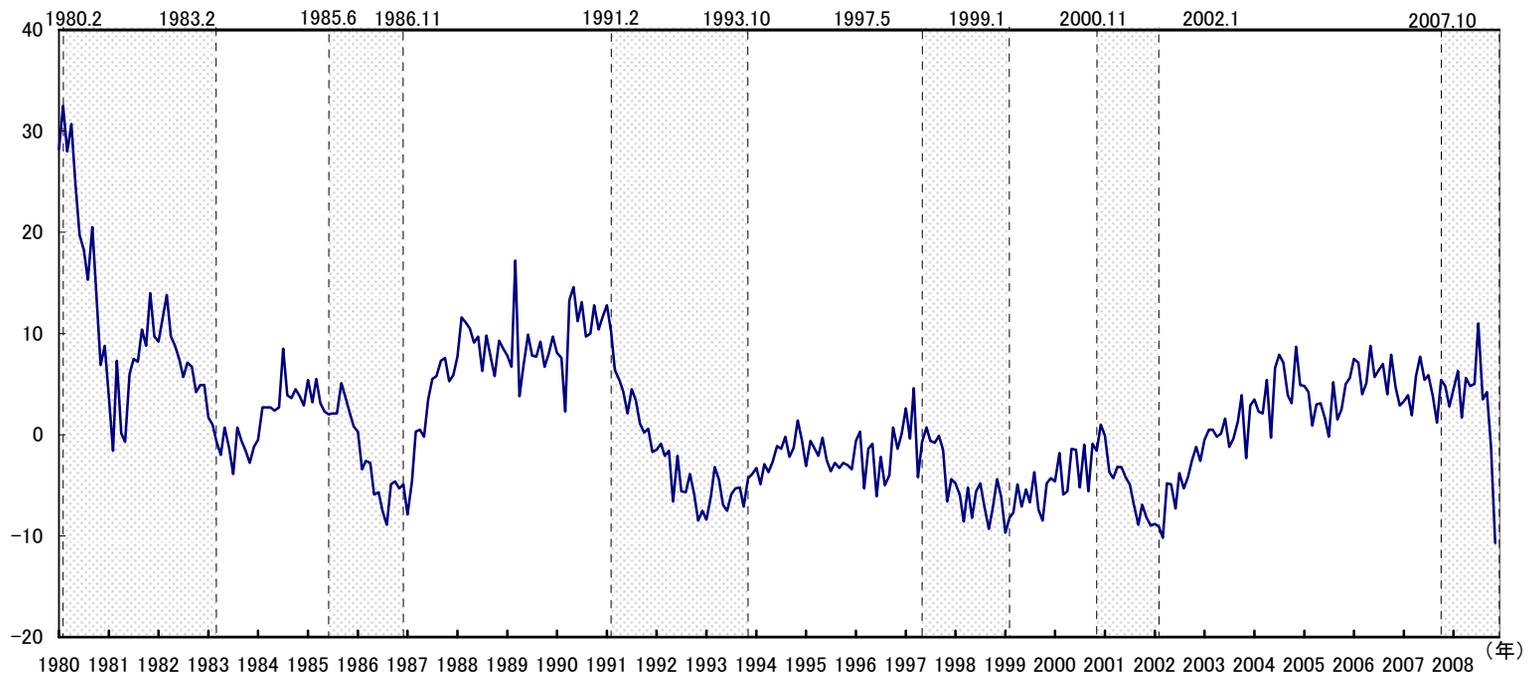
C 7 商業販売額（小売業）（前年同月比）

(%)



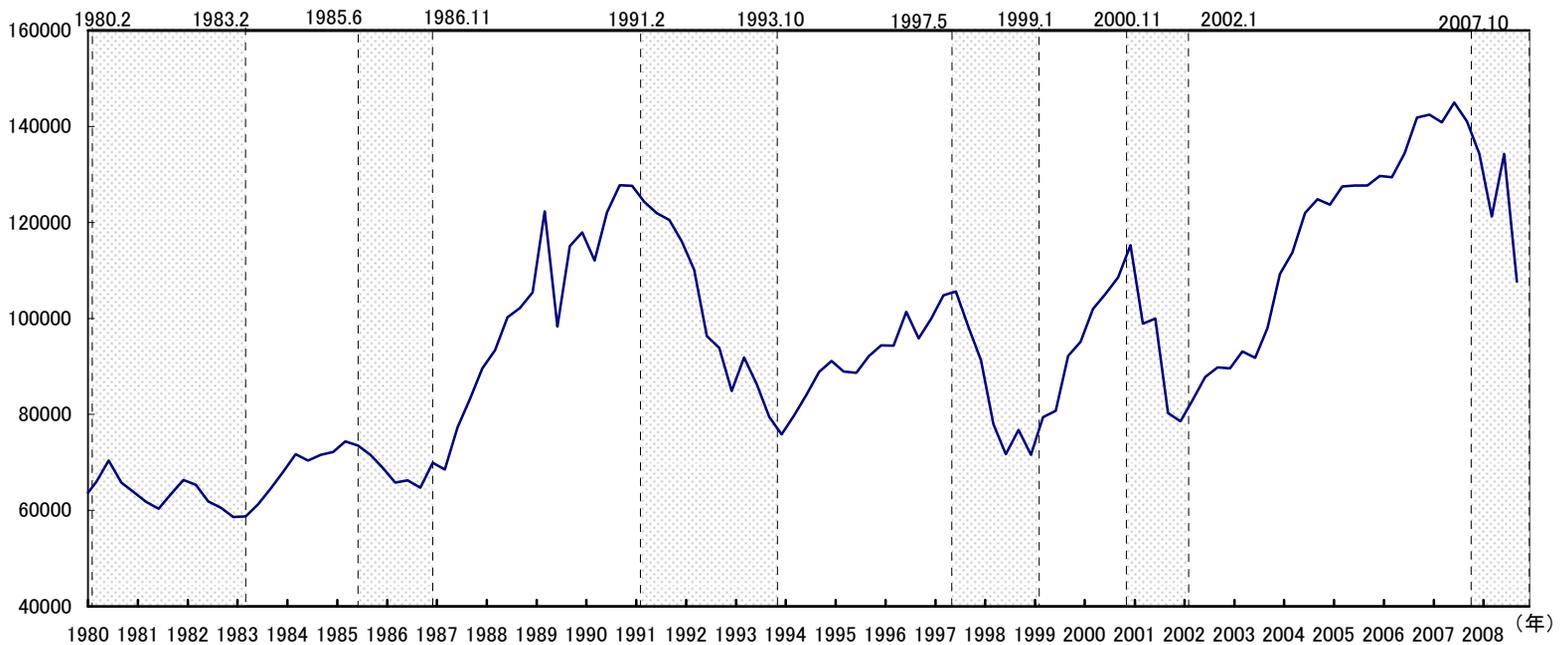
C 8 商業販売額（卸売業）（前年同月比）

(%)

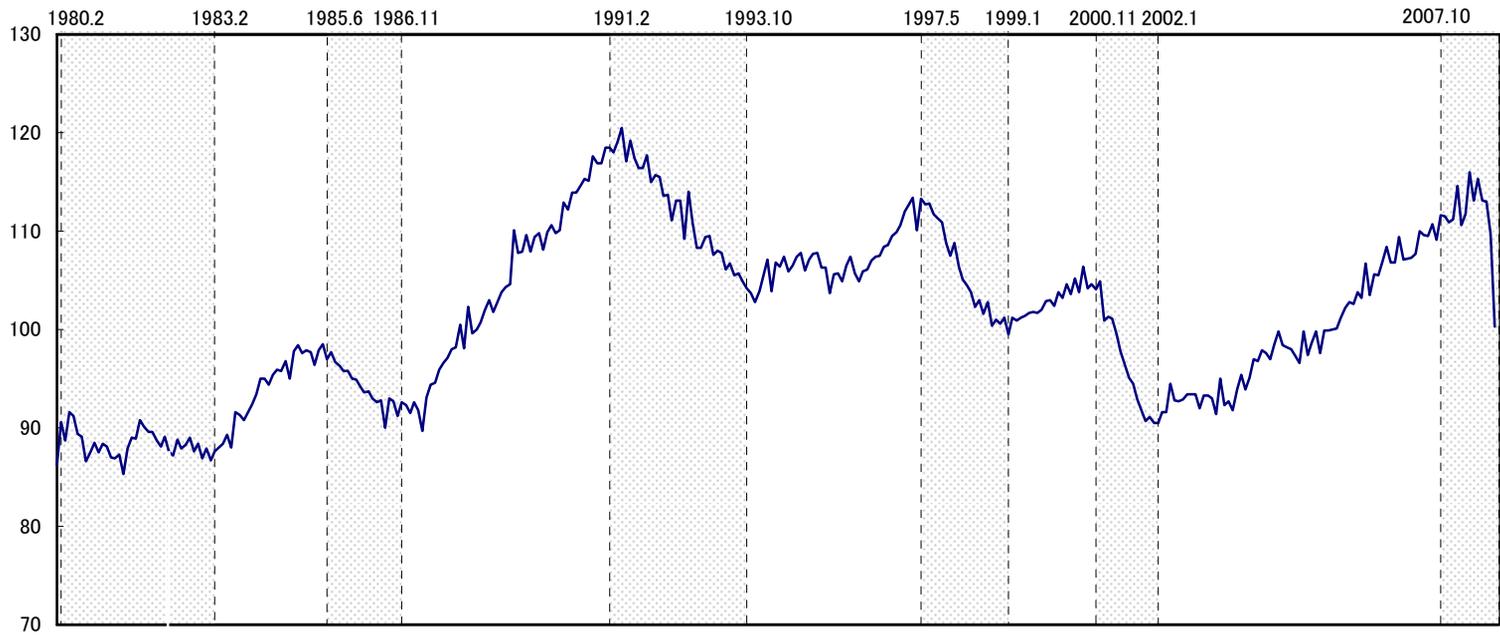


C 9 営業利益（全産業）

(億円)



C 10 中小企業売上高（製造業）



C 11 有効求人倍率（除学卒）

（倍）

